

平成 20 年（2008 年） 9 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（3 日目）

平成 20 年 9 月 22 日（月）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	玉 城 彰 (無所属)	1 食の安全について	先般、県内でマンゴー、海ぶどうの産地偽装の事件が発生した また国内では消費期限の改ざん、殺虫剤が混入した輸入ギョーザ、うなぎや鶏肉の産地偽装、汚染米の転売など、食の安全を脅かす事件が頻発している 今、国を初めとした県・市町村の早急な対策が求められている。次の事項について本市の見解を伺う (1) この間、どのような取り組みを行ったのか (2) 学校給食の食材の安全性確保について (3) 担当部署の設置状況と今後の対応策について
		2 雇用対策について	沖縄県に於ける完全失業率は、県の発表によると、8 月末現在で 7.8%、全国が 3.3%である 6 月末には 8.4%で極めて深刻で、改善の兆しがほとんど見られない。そこで次の事項について伺う (1) 本市のこれまでの取り組みと成果及び県の推進するグジョブ運動の取り組み内容と実績について (2) 今後の対策について
		3 補助金について	(財)沖縄駐留軍離職者対策センターへの補助金の継続について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 新庁舎建設について 5 モノレール延長について	新庁舎建設の中身について伺う 事業規模と予算全額、建物の高さ及び周囲の交通計画について 沖縄都市モノレール延長検討委員会が決定した、浦添ルート of 取り組み状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 20 年 9 月 22 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	高 良 正 幸 (自民・無所属 連合)	1 市歌について	(1) 現在的那覇市歌について (2) 過去の「新しい那覇市歌募集」のいきさつ (3) これからも募集する計画はあるのか
		2 経済商工行政について	老朽化した第 1 牧志公設市場の対応について (1) 第 1 牧志公設市場に関する調査の目的 (2) 中心市街地における第 1 牧志公設市場の関係性と意義 (3) 現在の進捗状況と未来像
		3 教育行政について	学校教育支援ボランティア活動について (1) ゆうゆう会の現在の状況 (2) 他の団体の名称と内容を伺う (3) 子供達の学力向上に対してどのような効果があるか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（3日目） 平成20年9月22日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	喜舎場 盛 三 (公明党)	1 防災行政について 2 福祉行政について 3 教育行政について 4 企業協賛による子育て支援及び地域支援について	(1) 本市で高齢者だけの世帯は何世帯か (2) 障がい者だけの世帯は何世帯か (3) 大地震の際、住民の死亡の原因は建物の倒壊によるものと、家具の転倒によるものかなりの割合を占めるようであるが、お年寄りだけの世帯や障がい者だけの世帯では家具転倒防止器具の設置は困難であると思う これらの世帯に本人に代わって器具を設置してあげる事業が実施できないか伺う (1) 障がい者居住サポート事業の概要を伺う (2) 高齢者や DV 被害者などに対する同様の事業は実施されているのか伺う (1) 沖縄電気保安協会と那覇市教育委員会の連携による学校支援に関する基本協定書が締結されたようだが、その目的と内容を伺う (2) 電気保安協会と教育委員会が連携し、環境教育を推進していくのは良い事だと思うが、実際にそれを省エネ等に結びつけるためには、何らかのインセンティブをつけていくのが効果的だと思う。以前提案した、例えば「フイフティーフイフティー」のような施策は検討されたのか伺う 子育て中の世帯を経済的に支援するとともに、商店のイメージアップや新たな客層の来店効果を図る目的で、子育て中の世帯の人が買い物をする際に、協賛店が料金の割引や何らかのサービスを提供する事業を実施している自治体がある またサービスを受ける対象者を高齢者や障がい者まで拡大している自治体もある。平成18年の6月議会で我が党の同僚議員が同様な事業の実施を提案した際、県と連携しながら検討していくとの答弁だったが、検討したか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（3日目） 平成20年9月22日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	瀬 長 清 (自民・無所属 連合)	1 教育行政について 2 都市計画行政について	放課後子どもプランの実施状況について 放課後や週末に子供達が安全で安心して育まれるよう、子供達の居場所づくりのため、平成19年度から、「放課後子どもプラン」が実施された 文部科学省、厚生労働省の調査で、全国の小学校校区における実施率が73%であるのに対し、沖縄県は約5%の13校で実施されているという結果がでた。文部科学省は原則として、すべての小学校校区での実施をめざすとしているが、那覇市の取り組みについて伺う (1) 「放課後子どもプラン」事業計画の策定と各小学校等の実施状況はどうなっているか (2) 未実施の小学校校区の状況とその理由について伺う (3) 川崎市における「放課後子どもプラン」の実施内容については、どうなっているか (1) 真嘉比古島第二土地区画整理事業の整備について 同土地区画整理事業は、昭和63年に事業の施行が開始され、約20年が経過し、地域住民から事業の早期完成が求められてきた。翁長市長の積極的な事業展開により、当該事業もあと一歩という所まできた。事業への取り組み状況と今後の見通しについて、当局の所見を求める ① 真嘉比古島第二土地区画整理事業の今年度の事業内容と今後の残り事業の内容について伺う ② 同整理事業との関連で、那覇中環状線及び真嘉比古島線の供用開始予定と同区画整理事業の完了予定はいつか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 県立博物館跡地の整備について 琉球王朝時代に、国王の世子である王子の住宅地であった、中城御殿が建設されていた、歴史的に由緒ある県立博物館跡地の整備について、県は、来年度検討委員会を開催し、跡地の利用を協議するとのことだが、当局の所見を求める ① 県立博物館跡地の整備スケジュールは どうなっているか伺う ② 県立博物館跡地の整備検討委員会が設置されるとのことだが、どのような構成となっているか。そして、その期間はどうか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 20 年 9 月 22 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	永 山 盛 廣 (自民・無所属 連合)	1 自治会行政 について	自治会関連施策について 市長は、市民との協働によるまちづくりを市政運営の基本に据え、これまで鋭意取り組み、大きな成果を残してきたことは市民の誰もが認めるところである その協働によるまちづくりの担い手として、NPOや企業、ボランティア団体など様々な団体が本市において活躍しており、本市のまちづくりに大きく寄与していることは、喜ばしいことである しかしながら、協働のパートナーとしてもっともベースとなるのは、地域課題に向かい合い、日々取り組む自治会であると考えます。 協働によるまちづくりに欠かせない自治会関連施策について以下を伺う (1) 本市の自治会活動とはどのようなものか (2) 本市の自治会の加入率は、県内市町村や他府県の類似都市等と比較した場合はどうか (3) 自治会の加入率向上及び新規自治会結成に関してはどのような取り組みをしているのか。また、自治会の新たな仕組み、制度づくりは考えられないか
		2 教育行政について	学校教育について（自然体験活動の充実） 子どもたちの成長にとって、自然体験は有意義なものである。自然との触れ合いを通して環境の大切さと生命の尊重など多くのものを学ぶ機会でもある。本土各地から本県に自然を求めて観光客が訪れており、東村では幾多の体験活動プログラムを用意したエコパークを開設していると聞いている (1) 那覇市の子どもたちも自然教室を実施していると聞いているが、その現状について伺う (2) 銘苅小学校では、東村を利用し、自然体験活動を実施したと聞くが、その成果を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 今後、那覇市の自然宿泊体験に東村を活用し、充実を図ることについてどのように考えるか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 20 年 9 月 22 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	久 高 友 弘 (自由民主党・ 市民の会)	2 項道路につ いて	(1) 沖縄県内に 2 項道路は何本あるか。那覇市 内に何本あるか伺う (2) 2 項道路に塀や擁壁が造れるか。また植木 鉢等は置けるか伺う (3) 2 項道路に固定資産税が課税されている か伺う (4) 2 項道路の管理はどこが行っているか伺 う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 20 年 9 月 22 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	多和田 栄子 (社社連合)	1 旧軍飛行場 用地問題につ いて 2 非常勤職員 の休業制度及 び賃金につい て	戦後処理事業として、懸案事項である旧軍飛行場用地問題は、2009 年度国庫予算計上をめざす大事な時期である。社民党県連として、沖縄特別振興対策調整費とは別途に、事業費を拡大した「特別枠」での事業予算を求めるよう県に要請したところである。そのことに関連して、那覇市の取組状況を伺う (1) 地主会から提案されている事業案及び今回見送られた事業の理由を伺う (2) 那覇市としても特別振興対策費とは別に「特別枠」として予算要求をすべきと考える。当局の見解を伺う 労働者派遣法が施行され、あらゆる業務で派遣事業が拡大する中で、働くワーキングプアなる格差社会が広がっている。本市においても正規職員と非正規職員との賃金格差は例外ではない。さらに、平成 15 年 7 月に制定された次世代育成支援対策推進法において、那覇市特定事業主行動計画が制定され、非正規職員の休業制度も示されていると思う。そこで、次のことを伺う (1) 非正規雇用の労働条件は、どのようになっているのか伺う (交通費・育児休業等) (2) 1 年契約している非常勤調理員（給食センター）において、夏休み、春休み期間中の勤務がないと聞いている。実態はどうか、法的根拠はあるのか、答弁を求める

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 おもろまち 一丁目の問題 について	おもろまち一丁目の建設問題について、市長は、2008年8月20日の新聞紙上で土地売却について11月の選挙で判断を仰ぐと述べているが、その判断材料は何か。見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 20 年 9 月 22 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	湧 川 朝 渉 (日本共産党)	1 とまりんの売却について 2 旧那覇市伝統工芸館の跡利用について 3 土地開発公社の健全化に関する計画について	(1) とまりん売却に関する公募はいつ行い、誰とどのような条件で、いつ合意したのか。売却契約は正式に締結しているのか。当局の見解を問う (2) とまりんの売却で、市民と市に不利益を与えないために、どのような措置、担保の確保を行っているのか、行うのか。当局の見解と対応を問う (1) 小禄・赤嶺に当初建設した際の費用はいくらか (2) 国際通りに、いつ、なぜ移転したのか。移転費用は幾らかかったのか。移転する際に、その跡利用は、同時に検討されていたのか (3) 移転後の跡利用について、小禄地域や市民の要望をどのように反映するように検討したのか。どの部署で、誰が検討したのか。跡利用を検討する委員会は正式に設置されたのか (4) 移転後の跡の施設は、現在、何に利用されているのか。跡の施設の管理維持費は幾らかかっているのか。以上について、当局の見解と対応を問う (1) 那覇市以外に、米軍基地の返還後の都市づくりで、土地開発公社を活用した事例はあるのか。活用せざるを得なかった理由は何か。当局の見解を問う (2) 同計画の目的と概要、塩づけ土地の概念・規定について。同計画の対象土地は塩づけ土地なのか。当局の見解を問う (3) 同計画を実施するために必要な、新たな市債・借金の総額は幾らか。同計画における那覇市の財政効果は具体的に幾らか。当局の見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 おもろまち 一丁目の市有 地売却につい て	都市計画の用途変更後、土地評価の再鑑定をな ぜ、行わなかったのか 再鑑定を行えば、どのような土地評価が行われ たと思うか 再鑑定を行わなかった事は、市民に不利益を与 えたと思わないか 当局の見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 20 年 9 月 22 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	比 嘉 瑞 己 (日本共産党)	1 生活保護についての翁長市政の対応について 2 幼稚園教諭・保育士の非正規雇用について 3 普通教室・幼稚園へのクーラー設置について 4 学童保育の施設問題について	(1) 生活保護費に加算される「冬季加算」の減額を要求したことについて、今も市長の見解は変わらないか。見解を問う (2) 那覇市は「通院移送費」について「バス・モノレールについては、通院移送費を支給しない」とする基本方針を改めるべきである。当局の見解を求める (1) 那覇市の幼稚園教諭・保育士の配置状況について問う。非正規雇用率、給与や社会保障、待遇面などについて問う (2) 退職不補充を撤回し、必要な保育士を正規雇用として採用すべきである。見解を問う 普通教室・幼稚園でのクーラー整備計画の設置状況について問う。また全教室・幼稚園へのクーラー設置にむけて新たな整備計画をもつべきと考えるが、当局の見解を問う (1) 学童保育の果たしている役割と課題について問う。那覇市は施設設置・運営基準を持つべきである。那覇市の学童保育における施設の状況について問う (2) 古蔵小学校の改築が予定されているが、地域の実情も考慮して、学童保育施設を同施設内に造ることを検討すべきである。当局の見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長